

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2024

4

vol.316

「復興牧場」建築工事始まる

3月19日(火)に、安全祈願祭及び起工式開催



TOPICS

- ・東北酪農青年女性会議主催
「第51回東北酪農青年女性会議酪農発表大会」開催…………… ③

浪江町棚塩地区「復興牧場」の 安全祈願祭及び起工式開催

3月19日に(仮)に浪江町の棚塩地区において、復興牧場の安全祈願祭及び起工式が開催されました。式典には、浪江町 吉田 栄光町長、福島県酪農業協同組合 紺野 宏代表理事組合長ら約50人が出席し、工事の無事を祈りました。

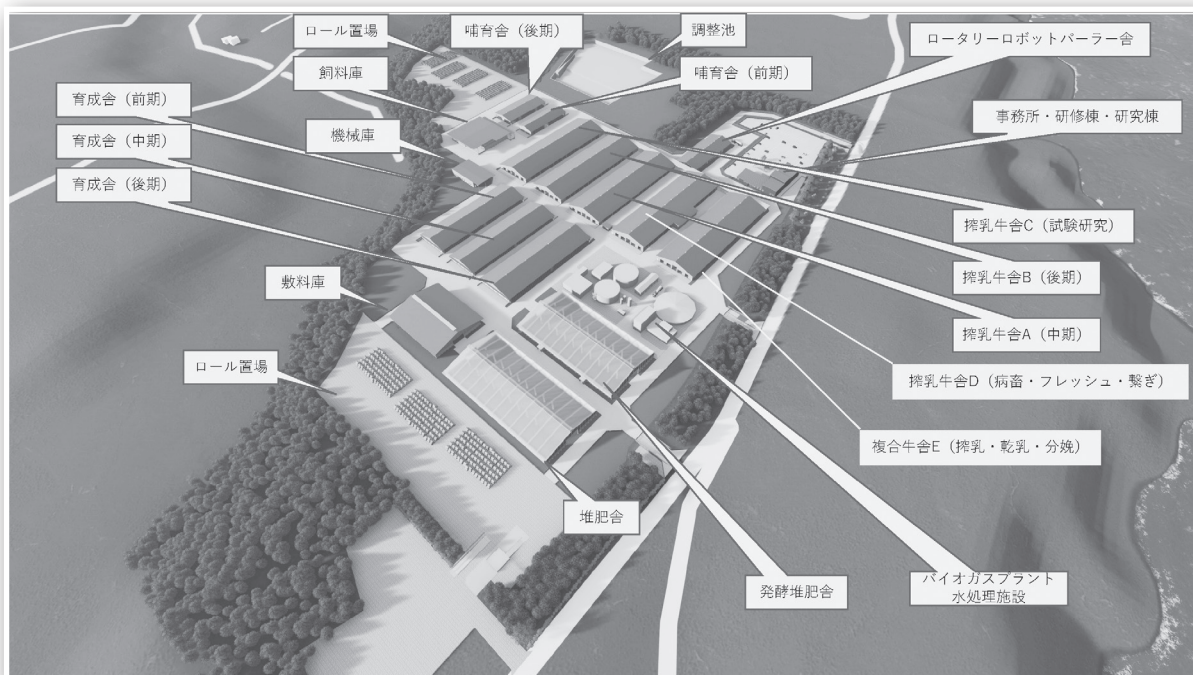
吉田 栄光浪江町長は、「除染後の農地保全管理及び管理耕作を行いながら本格的な営農再開に向けて、取り組みを進めて参りました。畜産業については、震災前に農家約95戸、1,145頭の乳用・肉用牛の飼育がされており、震災後はこの畜産業の再開が我々、当町の大きな道しるべといえます。震災原発事故から浪江町は、除染作業により、田んぼ、畑などの表土がはぎとられ、これからの農業は有機を視点とした耕畜連携という新たな農業が必要ではないか、そして、しっかりとした地力のある農地を作り上げていく、それが我々の復興の大きな農地の復興の使命であると考えています。そのような中で、本施設が大きく耕畜連携に寄与するものであり、この地域の農地復興の大きな課題解決の足がかりと確信しているところです。施設の建設にあたっては、施工業者の皆様の方の力添えが必要であり、農業、畜産業の皆様の方の期待に応えられる施設が無事完成できるよう現場や周辺地域の安全管理に十分ご配慮いただき、工事を進めていただきますようお願いを申し上げます。」と挨拶いたしました。

「復興牧場」は、約25ヘクタールの広さに、総飼養頭数で約2千頭の牛を飼育する牛舎や酪農の研究機能を備えた牧場を整備します。

完成は令和8年3月末の予定で、同年4月より稼働していく予定となっております。



浪江町 吉田栄光町長 挨拶



「復興牧場」の完成イメージ図

約25ヘクタールの広さにロータリーロボットパーラー舎、搾乳牛舎、哺育舎、育成舎、バイオガスプラント水処理施設など、施設を整備する。

東北酪農青年女性会議主催

「第51回東北酪農青年女性会議酪農発表大会」が 岩手県花巻市 花巻温泉「ホテル紅葉館」にて開催

東北代表は佐々木義幸さん（岩手県）、茂木梨恵さん（宮城県）

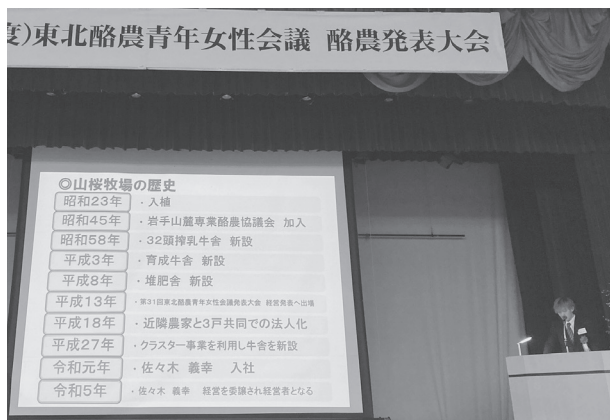
令和6年3月18日(月)岩手県花巻市 花巻温泉「ホテル紅葉館」にて、東北酪農青年女性会議（斎藤忠義委員長）主催の第51回酪農発表大会が、東北各地から79名の酪友・関係者が参加して開催されました。

経営発表の部では、『人に感謝・牛に感謝・自然に感謝・地域に感謝～滝沢一の牧場を目指して～』と題して、岩中酪農青年女性会議の佐々木義幸さんが発表されました。佐々木さんは、牛群検定や同県内の大学に協力している研究用データの結果をもとに、普段の牛の様子と客観的なデータで飼養管理をしていること、発生した糞尿を堆肥として活用するだけでなく、発酵鶏糞と併用することで価格高騰した化学肥料の使用量を減らし、コストを抑えていること、今後は増頭、施設の増設、従業員の増員を計画しさらなる発展を目指していることなどを発表されました。

続いての意見・体験発表の部では『乳製品を通じて牛の優しさが届きますように』と題して、宮酪青年婦人連絡協議会の茂木梨恵さんが発表されました。サラリーマンのご家庭で生まれ、短期大学で出会った今の夫と結婚し、酪農を営んでいた茂木家に嫁いだこと、酪農への魅力が見つけられず悩んだ時に偶然見つけたチーズ工場での研修を受け、自分の天職と感じて6次化実現の夢を描いたこと、現在は茂木牧場の生乳を使ったバターや牛乳、のむヨーグルトを道の駅やマルシェを通じて販売していることなどを発表されました。

東北酪農発表大会において、発表者の選出方法が各県の輪番制として行うこととなり、今回、発表された佐々木さん、茂木さんが7月に愛知県名古屋市で開催される全国酪農青年女性会議主催の全国酪農発表大会に、東北代表として出場しますので応援をお願いします。

追って、名古屋市で開催される全国酪農発表大会のご案内をいたしますので、参加いただきますようよろしくお願いいたします。



岩中酪農青年女性会議 佐々木 義幸 さん



宮酪青年婦人連絡協議会 茂木 梨恵 さん



発表者の佐々木義幸さん（左）と茂木梨恵さん（右）

福島県酪農青年研究連盟主催

第3回酪青連酪農後継者支援研修会開催



2月27日(火)に磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」にて、福島県酪農青年研究連盟主催の第3回酪青連酪農後継者支援研修会を開催しました。本研修会は、福島県による次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業を利用した研修会となっております。当日は酪青連会員、各関連団体より49名の方々が参加しました。

講師には全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 酪農技術研究所 村山恭太郎氏をお迎えし、「哺育管理をアップデートしよう!!」と題し、ご講演いただきました。

研修会では、免疫移行基準の改訂や初乳給与による子牛の発育速度増加等について講演いただきました。

また、研修会の内容を踏まえて、グループディスカッションを実施しました。例年は2月に酪農発表大会を開催しておりましたが、東北発表大会における発表が各県の輪番制となったため、今回は代替企画として研修テーマに関する日々の悩みを参加者同士で共有、意見交換を行う場を設けました。

参加者からは、ディスカッションを行うことで理解をより深めるきっかけになった等好評のご意見を多数いただきました。

次年度においてもこれからの酪農を担う若手酪農家、後継者の方にとってためになる研修会を企画しておりますので、是非ご参加下さいますよう、お願い致します。



グループディスカッション

講師：全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部
酪農技術研究所 村山恭太郎氏

購買畜産課

令和6年4～6月の牛用飼料価格について

令和6年度第1四半期（令和6年4月～6月）の牛用飼料（配合・哺育）につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

改定額(令和6年1～3月期対比)

(1) 牛用配合飼料 トン当たり **4,300円値下げ**
 (2) 牛用哺育飼料 トン当たり **10,000円値上げ**

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産とうもろこしは、3月8日米国農務省の需給予想において2023年産の生産量は153億4,200万ブッシェル（3億8,971万トン・前年比112.4%）、単収は177.3ブッシェル/エーカー、総需要量145億5,500万ブッシェル（3億6,971万トン）、期末在庫21億720万ブッシェル（5,517万トン）、在庫率14.92%と発表されました。

供給面では、米国産の潤沢な在庫量やブラジル産の減産懸念の後退、アルゼンチン産の豊作期待、更に需要面では中国の飼料需要の減退等、弱材料が揃っていることからシカゴ定期は軟調に推移しています。

大豆粕は乾燥懸念にあったブラジルの天候が回復したことによりシカゴ大豆定期が下落していることから、相場は軟調に推移しています。

槽糠類については、グルテンフィードは国内スターチメーカーの稼働が繁忙期に入り需

給が緩和していることから相場は軟調に推移しています。ふすまは発生量が回復傾向にあるものの、需要も堅調なことから相場は底堅く推移しています。

脱脂粉乳は欧米の生乳生産量が減少傾向にあることや、中東、東南アジアからの強い引合いがあることから、相場は堅調に推移しています。

海上運賃は欧米からのアジア向け貨物がパナマ、スエズ運河を避けた迂回ルートの航行を余儀なくされていることから上昇しています。

為替相場は日銀のマイナス金利政策が解除されたものの、当面は緩和的な金融政策が継続するとの見通しから、日米間の金利格差が意識され円安ドル高基調が継続しています。

FD24会 会員研修会開催！



去る2月22日(木)、FD24会（会長 遠藤明）の会員研修会を開催しました。今回は、西郷村の雪割牧場(有)を視察研修先とし、会員等計17名が参加しました。

研修においては、雪割牧場(有)代表取締役後藤誠氏から、日々の牧場経営の中で直面する課題や今後の展望についてお話しいただくとともに、各牧場施設についても説明いただきました。参加者からは熱心な質疑応答が行われ、自分の牧場により多くの学びを持ち帰ろうという前向きな姿勢が表れる有意義な研修会となりました。

研修会終了後には、スパホテルあぶくまにて懇親会を行い、会員の皆様で近況報告や最新の情報交換をして束の間の憩いの時間を過ごし、盛会にて終了致しました。

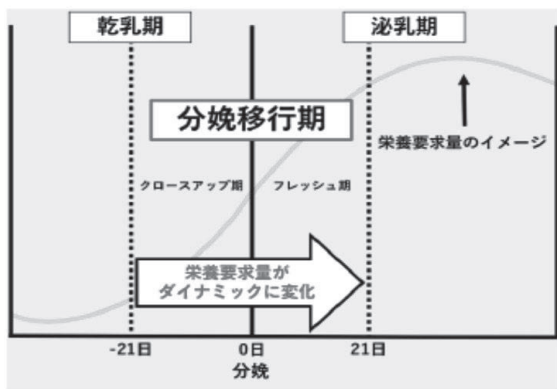
次年度も引き続き、会員の皆様のニーズに沿った企画をして参りたいと思いますので、よろしくお願致します。



全酪連の小窓 4月号 ~移行期管理~

ようやく春が感じられる季節になりました。暖くなりそろそろ外作業の準備に取り掛かる頃かと思えます。4月5月は県内では夏分娩に向けて乾乳牛が多くなっているタイミングです。暑い中での分娩に備えるためにも今月は移行期管理についてお話していきます。

移行期と栄養管理

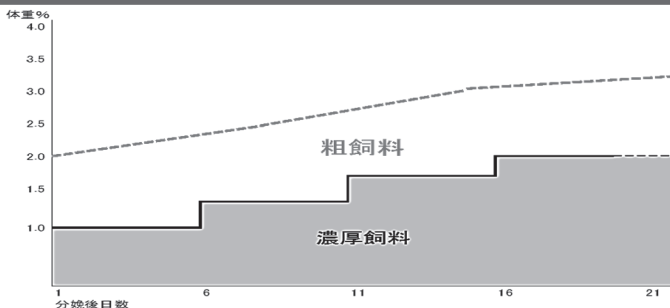


分娩移行期では分娩前と分娩後での栄養要求量は全く異なります。

クローズアップ期にエネルギーを過剰給与すると、見た目は過肥でなくとも内臓脂肪が蓄積し、分娩後にケトーシスのリスクが高まります。「食べさせすぎ」には注意し、**乾物摂取量の適切なコントロールや代謝タンパク供給量の確認**が重要です。

フレッシュ期ではルーメン環境のギャップを少なくするため、**大幅な濃厚飼料の増給**は避けることが望ましいです。良質な粗飼料の給与や、十分な飲水量の確保が優先事項です。

分娩後の飼料給与と増給(分離給与の場合)



例) 2産体重650kgの場合での濃厚飼料の増給目安
 分娩日~分娩後5日 (1.00%) 6.5kg
 分娩後 6日~分娩後10日 (1.33%) 8.5kg
 分娩後11日~分娩後15日 (1.66%) 10.5kg
 分娩後16日以降 (2.00%) 13.0kg

- ①分娩日には、現物基準で体重の約1%の濃厚飼料を給与します。
- ②分娩後15日後に体重の約2%を目標に毎日0.5kgずつ徐々に給与量を増やします。※1日毎に増やしていくのは現実的方法でないで5日毎に2.5kgずつ増やす。もし粗飼料の採食量が伸びてこなければ、次の5日間はその給与量で続けます。
- ③16日以降は乳量などに合わせ給与量を体重の最大2.5%まで増やします。

分離給与のポイント

- 長さが長いものや、粒子の大きいものから順番に給与します。
 例) 乾草→牧草サイレージ→デントコーン→ビートパルプ→配合飼料など
 ※粒子の大きいものから給与すると、ルーメン内での引っかかりが良くなり、消化率が向上します。
- 濃厚飼料はなるべく1日4回以上に分けて給与します。**その際、飼槽に粗飼料があるように!**
 例) ①朝搾乳前→②朝搾乳後→③夕搾乳前→④夕搾乳後
 ※ルーメンpHが安定し、エサの利用効率が上がります。
- 1回の濃厚飼料給与量は**2.5~3.5kg**が目安です。(飼料の種類、個体によって要調整)
 配合給与の間隔はルーメンpHの恒常性を考慮し、最低2時間以上を空けるようにしましょう。

主な周産期疾病

●主な周産期の疾病は？

低カルシウム血症、ケトーシス、第四胃変位（四変）、胎盤停滞が挙げられます。

●3産目以降から発生率が上昇傾向に

初産～2産目の乳牛では低カルシウム血症やケトーシスの発生は少ない傾向にありますが、産後のストレスによる第四胃変位や、難産が原因での胎盤停滞は産次を問わずに発生する可能性があります。特に胎盤停滞は分娩後の子宮炎発生リスクが上がり繁殖に悪影響を与えます。

特に現場で見られる低カルシウム血症と後産停滞について下記にまとめました。

低カルシウム血症

産後の低カルはケトーシスや四変、後産停滞などの周産期病の発生リスクを増加させ、繁殖や乳量などその後の生産性に悪影響をもたらします。

◎分娩前の予防策の方法

1. ビタミンD3を注射する

分娩3～5日前に投与する必要あるため、効果が薄い可能性もあります。

2. 乾乳期のCa給与量の調整

乾乳前期にはしっかりとCa給与し、後期に制限して体内のCa動員をしやすくさせる方法です。ただし粗飼料にもCaが含まれているため、コントロールが難しいケースが多いのが現状です。

3. 乾乳後期のDCAD調整、飼料中カリウムの制限

飼料中のイオンバランスを調整し、産後のCa動員をしやすくさせる方法です。カリウム（ミネラル）コントロール、尿pHの測定など実施するには少々敷居が高いのがネックです。

後産停滞とリスク

●子宮内炎症のリスク上昇

分娩後の胎盤が体外に排出される際、胎盤を経由して子宮内の細菌感染が起こりやすくなります。

その後に炎症が発生すると子宮炎となり、さらに進行すると子宮内膜炎になってしまいます。分娩後の子宮炎や子宮内膜炎の罹患率は意外と高く、とある文献では分娩後の乳牛において**約40%が子宮炎、約20%が子宮内膜炎**を発症しているとの報告があります。

分娩後2週間以上経っても白濁あるいは赤褐色の悪臭を放つ悪露が陰部から出てくる場合は子宮内での炎症が続いている可能性があるため、産後の採食量が十分に伸びてきません。また分娩後に子宮炎に罹患した乳牛は子宮の回復が遅れ、その後の初回発情や受胎率などの繁殖面に悪影響が出ることもわかっています。

～後産停滞の原因～

- 分娩時間問題（難産、死産、流産など）
- 栄養問題（ミネラル/ビタミン不足、低カル）
- 管理問題（乾乳期のストレス、過肥、分娩介助不良など）
- 感染症など



給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.232



〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

今回はヨーロッパにおける牛ウイルス性下痢（BVD）清浄化に向けた取り組みについてお話したいと思います。

ヨーロッパのBVD対策と清浄化

BVDは古くからその存在を知られていた感染症ですが、ヨーロッパでは1990年代頃から本格的な清浄化対策が始まりました。それぞれの国において、その取り組み内容は様々なのですが、大きく分類すると「国が法律によって定めたプログラム」と「関係機関等が自主的に行うプログラム」の2種類に分けることができます。

前者は、政府主導で法律によって強制的に行うプログラムであり、清浄化を図る上で非常にスピーディーかつ強力ですが、やや融通が利かないプログラムであり、後者は地域性等を踏まえて比較的自由度の高い対策が取られることが多いプログラムですが、清浄化という観点からはややスピードが劣ります。

日本ではBVDは政府の定めたガイドラインに基づき、各自治体等によって対策が行われていますので、この両者の中間に近いプログラムと言えると思います。

□ :BVD清浄国(6カ国)

ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、
フィンランド、スイス、オーストリア

■ :BVD対策法定プログラム(5地域)

北アイルランド、スコットランド、ベルギー、
ドイツ*1、アイルランド*1

*1 2023年よりBVDの清浄化を宣言

▨ :BVD対策自主プログラム(6地域)

イングランド、ウェールズ、オランダ、スペイン、
イタリア、フランス*2

*2 2019年よりBVD対策法定プログラムに移行



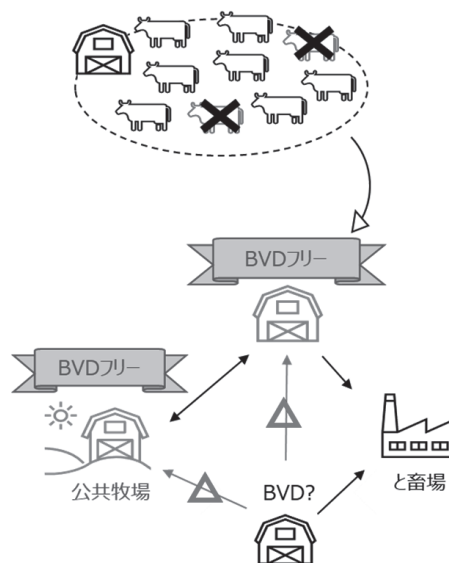
Metcalfe, 2019, An Update on the Status of BVD Control and Eradication in Europe

ドイツにおける清浄化対策

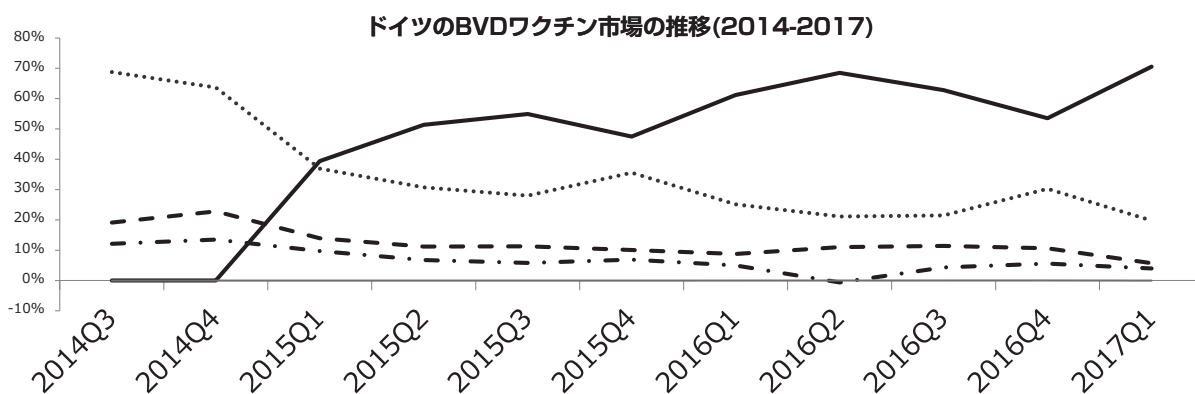
ここで昨年2023年に清浄化宣言を発表したドイツの事例を見てみたいと思います。ドイツは2011年より、国が定めた強制プログラムによって対策が実施され、わずか12年余りでBVDを過去のものにすることができました。そのドイツの戦略は「個体検査によるPI牛の摘発淘汰とワクチン等によるBVD陰性状態の維持」というものでした。

ドイツはまず、抗原検査によって徹底的にPI牛の淘汰を図りました。そして農場ごとに「BVD陰性農場」と「BVD陽性農場」のステータスを定め、陽性農場は牛をと畜場以外には出荷できないような、出荷制限を設けました。これにより、2011年から2016年までの6年間で、約48000頭のPI牛が淘汰されたと言われています。

検査による摘発淘汰で一定以上の清浄状態を作り出したのち、ドイツではその清浄状態を維持する目的で、積極的なワクチン接種を推奨しました。ワクチン接種自体は決して強制ではなかったのですが、2016年からはワクチン接種農場については上述の移動制限を緩和したり、また一部の自治体ではワクチン費用を負担する等の対策が図られました。



Houe et al., 2006, Test strategies in bovine viral diarrhoea virus control and eradication campaigns in Europe
Wernike et al., 2017, Six Years (2011-2016) of Mandatory Nationwide Bovine Viral Diarrhoea Control in Germany—A Success Story



カイネテック社によるドイツにおけるBVDワクチンの販売データ (2017年)

つまり、ドイツは検査とワクチンの両輪で清浄化を成し遂げたのですが、上のドイツでのワクチン市場を見ると、販売直後から急速に販売数を伸ばしているワクチン（実線）があることに気付かれると思います。まさにドイツでの清浄化に貢献した「ヒーロー」のようなワクチンなのですが、これについては次回お話ししたいと思います。

令和5年度2月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、130円53銭3厘で前年より11円38銭4厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg(税抜)の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg(税抜)の値上げとなっております。また、令和5年8月1日からは飲用向け及び発酵乳向け、学乳向けが10円/kg(税抜)の値上げとなっております。さらに、令和5年12月1日取引分から乳製品向けのうち油脂分(バター向け及び生クリーム向け)の生乳取引価格について6円/kg値上げの期中改定となっております。

- 東北全体プール乳代金 4,397,795千円 単価127.656円
- 内 福島県分プール乳代金① 504,190千円 単価127.656円
- プール対象外乳代金② 97,609千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)
- 合計乳代金①+② 601,799千円 単価132.818円

項目	令和6年2月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	129円031	117円777	11円254	108円850
補給金単価	1円151	1円045	0円106	1円259
集送乳調整金単価	0円351	0円327	0円024	0円394
合計	130円533	119円149	11円384	110円503

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体2月)

用途別	販売乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	24,223	835.0	98.9	65.6	65.4
加工向け	4,286	148.0	103.0	11.6	11.1
学校給食向け	2,465	85.0	97.4	6.7	6.8
発酵乳向け	5,361	185.0	94.9	14.5	15.1
生クリーム向け	399	14.0	89.5	1.1	1.2
チーズ向け	181	6.0	128.0	0.5	0.4
合計	36,915	1,273.0	98.7	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

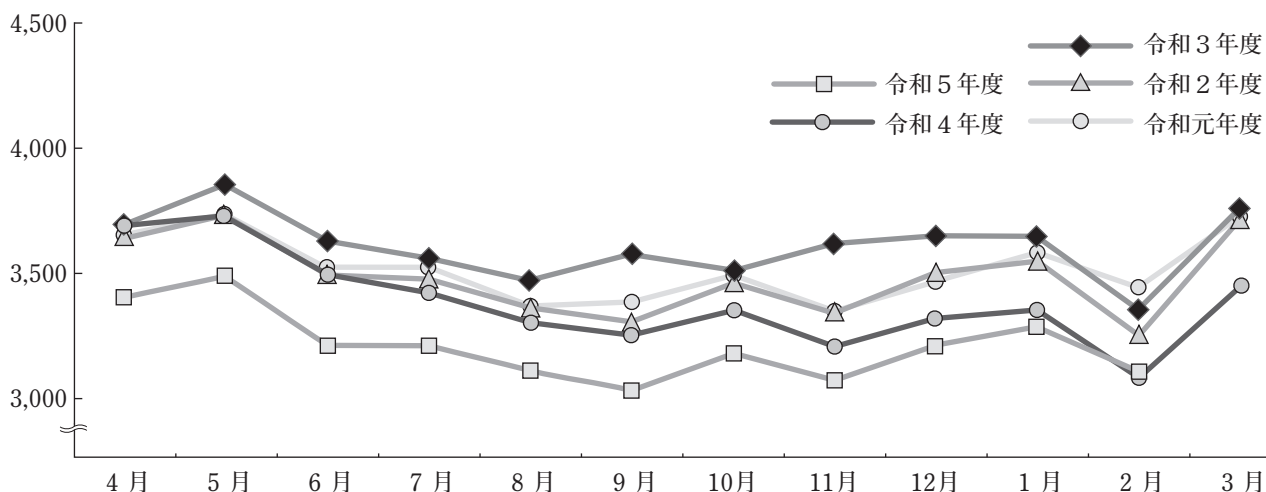
北海道：104.4%、都府県：102.3%

団体名	2月分		
	受託乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
県酪協	3,155	108.8	102.2
全農福島県本部	1,377	47.5	102.5
合計	4,532	156.3	102.3
東北生乳販連	36,915	1,272.9	98.7
全国	553,633	19,090.8	103.5

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155		
前年比%	92.3	93.5	92.1	93.7	94.3	93.3	95.0	95.6	97.3	98.3	102.2		

単位・トン



令和5年度受託乳量の状況

令和6年2月の受託乳量は、県全体で前年比102.3%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,155ト、前年比102.2% (対前年同67ト増)、全農県本部は1,377トの対前年比102.5%

(対前年同月34ト増) の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比98.7%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比103.5%となりました。

令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが103.0%、チーズ向けが128.0%と上回り、飲用向けが98.9%、学校給食向けが97.4%、発酵乳向けが94.9%、生クリーム向けが89.5%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和5年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比43銭引き上げの「8円69銭」、集送乳調整金を同6銭引き上げの「2円65銭」、総交付対象数量については、前年度比15万トン減の「330万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比49銭上げの「11円34銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、

配合飼料価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費と単独集送乳経費の増加、下げ要素としては加工原料乳の集乳乳量の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均45.5^ト（前年比101.1%）で、本組合生産量の41.8%、県全体生産量の29.1%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533		
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和6年2月29日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	戸 24	戸 29	% 82.8	頭 416	頭 185	頭 116	頭 432	頭 685	頭 1,233	頭 1,834	頭 1,895	% 96.8	頭 76.4
県中	47	54	87.0	246	91	131	310	757	1,198	1,535	1,691	90.8	32.7
浜	6	7	85.7	94	31	19	67	109	195	320	325	98.5	53.3
県南	32	35	91.4	602	233	201	594	944	1,739	2,574	2,640	97.5	80.4
合計	109	125	87.2	1,358	540	467	1,403	2,495	4,365	6,263	6,551	95.6	57.5

地区	月別分娩予定頭数							生乳出荷戸数	販売乳量			
	令和6年3月	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月		地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛								
県北	頭 92	頭 89	頭 51	頭 64	頭 109	頭 173	頭 155	戸 20	kg 32,940	kg 1,647	kg 29.5	kg 26.7
県中	100	63	39	52	77	76	125	47	27,421	583	25.7	22.9
浜	13	6	9	15	29	21	24	6	4,813	802	27.3	24.7
県南	146	106	105	109	163	162	237	30	43,470	1,449	28.3	25.0
合計	351	264	204	240	378	432	541	103	108,644	1,055	27.9	24.9

組 合 の 動 き 3 月

3月1日	福島県乳牛改良推進協議会主催 牛群検定研修会	3月15日	県中地区運営委員会
3月4日	日本酪農政治連盟東北ブロック協 議会通常総会・監事会	3月18日	県南地区運営委員会
3月4日	経営検討会	3月18日	東北酪青女酪農発表大会
3月4日	福島県畜産振興協会理事会	3月19日	シャインコースト(株)安全祈願祭
3月5日	全酪連監事会・理事会	3月19日	JAグループ農畜産物損害賠償協議 会総会
3月6日	日本酪農政治連盟中央委員会 ・通常総会	3月21日	臨床研究会
3月7日	福島県獣医師連盟役員会	3月22日	日本ホルスタイン登録協会理事会
3月7日	福島県獣医師会理事会	3月22日	東北生乳販連臨時総会・理事会
3月7日	東北生乳販連理事会 (WEB)	3月25日	福島県畜産振興協会臨時総会 ・理事会
3月7 ～8日	福島県酪女性部やまびこ会 役員研修旅行	3月26日	全国酪農協会理事会
3月11日	第1回役員候補者推薦委員会	3月27日	福島県生乳委託者委員会・幹事会
3月12日	福島県酪女性部やまびこ会 決算役員会	3月28日	酪青連決算役員会 ・青年部決算役員会
3月13日	浜地区運営委員会	3月28日	経営検討会
3月14日	乳牛せり市場	3月29日	辞令交付式
3月14日	全酪連ブロック別会長 ・組合長会議	3月29日	第11回理事会
		3月29日	監事と代表理事等との定期的会合

理 事 会

第11回 令和6年3月29日

議 案

報告事項

- 第1号議案 第九次中期経営3カ年計画(案)について
- 第2号議案 令和6年度事業方針並びに計画立案骨子について
- 第3号議案 令和6年度乳価構成テーブルについて
- 第4号議案 令和6年度細菌数・体細胞の乳質格差並びに自主規制実施要領について
- 第5号議案 令和6年度高能力乳用雌牛整備事業の実施について
- 第6号議案 令和6年度余裕金預入先金融機関並びに運用について
- 第7号議案 令和6年度一組合員に対する貸付金並びに貸付金利率最高限度について
- 第8号議案 特別積立金の取り崩しについて
- 第9号議案 令和6年度事業資金の借入並びに最高限度決定について
- 第10号議案 役員との貸付契約について
- 第11号議案 定款変更について

- (1) 令和6年度職員定期異動等について
- (2) 今後の日程について

令和6年度定期異動・昇進・昇格・昇級・退職者

◆退職者（令和6年3月31日付）

氏名	事由	所属
岩谷 宏	定年退職	組織振興室室長
朝倉 郁也	依願退職	生産部購買畜産課
箭内 正美	定年退職	組織振興室酪農ヘルパー

◆異動（昇進・昇格他含む）（令和6年4月1日付）

職位	氏名	新任	旧任
副調査役	甲斐 響	復興牧場設立準備室	生産部指導推進課
副調査役	目黒 裕佳	復興牧場設立準備室	生産部購買畜産課地区担当
一般職位	橋本 夏来	復興牧場設立準備室	生産部購買畜産課地区担当

◆昇進（昇格他含む）

職位	氏名	新任	旧任
副審査役	佐藤 隆	生産部購買畜産課課長代理	生産部購買畜産課課長補佐
副調査役	三浦 愛美	組織振興室課長補佐	組織振興室係長
副調査役	渡辺 弘美	組織振興室主任 (副調査役3等級)	組織振興室 (一般職位4等級)

◆昇格・昇級

職位	氏名	新任	旧任
審査役	松岡 陽慈	復興牧場設立準備室復興牧場設立専任部長（審査役）	復興牧場設立準備室復興牧場設立専任部長（副審査役）
副審査役	小島 宏文	生産部指導診療課兼務係長 (副審査役2等級)	生産部指導診療課兼務係長 (調査役3等級)
副調査役	久保 葵	生産部指導診療所 (副調査役3等級)	生産部指導診療所 (一般職位4等級)

◆昇格わたり

職位	氏名	新任	旧任
一般職位	矢野 恵	わたり昇格4等級	
一般職位	松本 直美	わたり昇格4等級	

◆再雇用

職位	氏名	新任
嘱託職員	岩谷 宏	組織振興室室長
嘱託職員	箭内 正美	組織振興室酪農ヘルパー
嘱託職員	土屋 博之	経営管理部経営管理課課長代理

特派員報告

二年間のご褒美に♪

県やまびこ会の役員はこの2年間コツコツと貯めた積み立てで役員活動を頑張ったご褒美に一泊二日の東京旅行に行ってきました。

現役員と離農してしまった元役員・事務局1名で行った東京は内容が濃く、笑い疲れた2日間でした。

初日は美味しいランチを皆で食べて劇団四季の「アナと雪の女王」を鑑賞して老舗料亭で豪華な夕食を食べて、普段の「酪農家の母ちゃん」とはかけ離れた時間を過ごしました。それでは足りず最後にカラオケで大はしゃぎ&大笑いして初日終了(^^♪



2日目ははとバスに乗って浅草・スカイツリー巡りをしてバタバタとお土産買って帰路につきました。本当に楽しくてあっという間の2日間でした。

初めて県の役員になって最初は2年が長く感じていました。役員の年齢層も幅広く私なんか務まるのかと思うこともありました。

今は、年齢も感じることなく和気あいあいとたくさんの事を話し合ったあっという間の2年間に寂しさも感じます。

役員活動は面倒に感じたり逃げたい気持ちにもなります。

でも、そこから逃げなかったから楽しい時間を過ごすことが出来たとも思います。

この2年間は無駄ではなく、私にとってはこの役員旅行もご褒美でした。

また機会があれば行きたいなと思います。

この記事を読んで少しでも誰かに何かが届くといいなと思います。

一緒に旅行に行っていた皆さん！！

楽しい時間をありがとうございました(^^♪



令和6年

7/18(木) ▶ 19(金)

日程

7月18日(木)

13:00~13:50 開会式
 13:55~16:15 酪農経営発表
 16:15~16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
 16:40~18:15 酪農意見・体験発表
 19:20~21:30 懇親会

7月19日(金)

9:00~ 開会
 10:20~11:40 審査講評・表彰式
 11:40~11:45 新旧役員紹介
 11:45~11:50 閉会式

大会参加費

1名 **5,000円** (大会のみ) 1名 **15,000円** (大会・懇親会)
 ※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

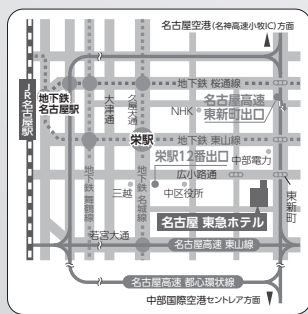
大会会場・アクセス

● 会場・宿泊

「名古屋 東急ホテル」
 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-6-8
 Tel 052-251-2411



● アクセス



- 鉄道の場合
地下鉄東山線「栄」下車
12番出口から徒歩5分。
- 車の場合
高速都心環状線 東新町
出口から「東新町」交差点
を右へすく。
- 飛行機でお越しの場合
セントレア(中部国際空港)
からは乗合タクシーが便
利です。所要時間約50分。

第 51 回

酪農発表大会
 全国酪農青年女性

主催 全国酪農青年女性会議 / 全国酪農業協同組合連合会



大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目 37 番 2 号 酪農会館
 全酪連 総務部 組織対策課 内 / TEL. 03-5931-8003

作品募集のお知らせ

第50回 らくのう こどもギャラリー

① 募集規定

- (1)酪農を中心とした題材の図画（大きさは自由）
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、題名・住所・氏名・振り仮名・年齢・学校名・学年・保護者名を必ず記載してください。また、酪農家の子弟については保護者の所属組名を記載してください。
- (4)作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

② 応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、および酪農に関心のある一般のお子さん。

③ 締切日

令和6年5月23日(木) (必着)

④ 提出先

下記「提出先」へ提出してください。

⑤ 審査結果の発表

「第51回全国酪農青年女性酪農発表大会」の発表要旨、および全酪連会報7月号に審査結果を掲載いたします。

⑥ 褒賞

- ・特選 1点
- ・入選 4点
- ・秀作 若干
- ・ファミリー賞 若干
(牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます)
- ・あすなろ賞 若干
(小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます)
- ◎入賞者には記念品を贈呈いたします。
- ◎図画の優秀作品は、作者の顔写真・審査講評と共に「全酪連会報」の最終ページに掲載します。
- ◎入賞された作品は、令和7年開催の第16回全日本ホルスタイン共進会(主催:一般社団法人日本ホルスタイン登録協会)の告知のための制作物等に使用されることがありますのでご了承ください。



第49回 特選
「ごはんを食べるホルスタインと
乳しぼりするボク」
穴見 祥太郎さん

第14回 酪農いきいき フォトコンテスト

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。

つきましては、下記のとおり作品を募集しますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

① テーマ

- (1)「乳牛のいる風景」
 - (2)「酪農作業風景」
- ※いずれも、酪農家がいきいきと牛乳生産に励む様子や、安心安全な牛乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

② 募集規定

- (1)写真は可能な限りデータで提出してください。
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、題名・氏名・振り仮名・住所・所属組名を必ず記載してください。
- (4)応募点数：お1人様1作品のみ



第13回 特選
「モーモーちゃん、いつも美味しいお乳を出してくれて、ありがとう♥」
松島太一氏 撮影

③ 応募資格

酪農家

④ 締切日

令和6年5月23日(木) (必着)

⑤ 提出先

下記「提出先」へ提出してください。または、全国酪農青年女性会議公式LINEでも応募可能予定です。詳細は決まり次第、全国酪農青年女性会議公式LINEで告知します。

酪農青年女性会議 公式LINE

@642bpcwkw

⑥ 審査方法

応募作品を「第51回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。
※応募多数の場合は事務局による予備審査を行います。

⑦ 審査結果の発表

- (1)「第51回全国酪農青年女性酪農発表大会」にて発表します。
- (2)「全酪連会報」の表紙に使用します。(号数未定)

⑧ 褒賞

- ・特選 1点
- ・入選 若干
- ◎入賞者には賞品を贈呈いたします。
- ◎提出していただいた作品の返却はいたしません。
- ◎応募していただいた作品は、全酪連会報およびカレンダーへの掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動(「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーン含む)等で使用することがありますのでご了承ください。

提出先

●福島県酪農青年研究連盟 ●福島県酪女性部やまびこ会
事務局：福島県酪農業協同組合 組織振興室
〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇 17
TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103

福島県牛乳普及協会

令和4年度

牛乳・乳製品利用料理コンクール 全国各地の受賞レシピをご紹介します



和洋mixチーズケーキ

福島県立あさか開成高等学校
荒川 利穂さんの作品



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- ・クリームチーズ… 100g
- ・ヨーグルト… 200g
- ・生クリーム… 100ml
- ・レモン汁… 大さじ1
- ・砂糖… 70g
- ・ゼラチン… 14g
- ・餡… 150g
- ・牛乳… 200ml
- ・ビスケット… 70g
- ・バター… 20g
- ・季節のフルーツ(柿) 40g

●作り方

- ① ビスケットと溶かしたバターを袋に入れ砕き、容器の下に敷く。
- ② 餡と牛乳を鍋に入れ、沸騰しない程度に熱し、そこにゼラチンを入れよく混ぜ、出来たら餡を半分①の容器に入れ、冷蔵庫で冷やす。
- ③ ボウルにクリームチーズ、砂糖を入れよく混ぜ、ヨーグルト、生クリーム、レモン汁、溶かしたゼラチンを入れ、再度よく混ぜる。

- ④ ③を①、②が入った容器に入れ、再度冷やす。
- ⑤ 固まったら②の余りを上にかけて冷やす。

ポイント

餡を牛乳と一緒にに入れて、ミルク餡にしました。季節のフルーツやジャムをサンドしてもおいしいです。

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思ひます。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
 - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
 - F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>